



下條村立 下條小学校

気持ちを伝えるお手伝い

読み聞かせを通じて受けたバトンを次の世代へ



20年以上続く小学生図書館ボランティア

下條村立図書館の小学生図書館ボランティアは、学校週休二日制にとめない、2002（平成14）年、土曜日の社会教育活動として、当時の少年クラブの一つとして始まりました。

小学生による「おはなし会」は毎週土曜日の午前に開かれ、絵本読みや紙芝居、手あそびは毎回全員で考えます。「少しずつおぼえて、自分より小さい子どもたちの前で読む経験を積むと、子どもたちはぐんぐん成長していく」と図書館司書の方は話します。図書館ボランティアを経験して大人になり、村の仕事で活躍している青年もいるそうです。

学校支援・読み聞かせ活動「のはらうたの会」

下條村では、学校・地域・家庭が連携・協力して村内の児童・生徒を育てようという『しもじょっ子カッセイカ会議』が組織されています。その中の学校支援活動の一つに『のはらうたの会』による小・中学生への読み聞かせ活動があり、2023年度で活動20周年を迎えました。

下條小学校では、週2回の朝読書の時間があります。そのうち、月1回ずつ『のはらうたの会』の方が、それぞれの学年の子どもたちの様子にあわせた読み聞かせをしています。子どもたちも毎回楽しみにしている時間となっています。

こんな活動もしています

村の無形民俗文化財に指定され、300年以上の歴史を誇る下條歌舞伎。保存活動には小中学生も参加し、総合的な学習の時間では伝統芸能の学習として和太鼓の演奏もしています。

2023年秋の運動会では、5、6年生が組体操に「地域とのつながり」を取り入れ「未来につなげよう下條の伝統」をテーマに取り組みました。

下條小学校 HP

<http://shimojo-es.vill-shimojo.info>

福祉教育のポイント

ボランティア活動は、相手のことを思いやる気持ちが大切です。自分の得意なことや好きなことも活動に役立ちます。

各地の図書館のなかには、目が不自由な人への朗読・通訳ボランティアを行っているところもあります。

長野市立 緑ヶ丘小学校

世界とつなげ！ 私たちの思い！！

世界の国の文化を学び、自分たちでできることを考えよう！



国際理解を深め、多文化共生の視点を養う

緑ヶ丘小学校の●年生が、総合的な学習の時間に、現地を訪れた人から直接話を聞き、世界の国の文化について学びました。6月、2022度までミャンマーの日本人学校にいた先生に、7月にはネパールで清掃活動に取り組んでいた保護者や、そこで暮らしていた経験のある先生に、それぞれの国の生活や学校の様子を聞きました。

また、夏には5年生が台湾の小学生と交流学習を行い、自分たちの文化について発表し合い、お互いの理解を深めました。

ミャンマーに医療用ガーゼを！

都市部の発展が進むミャンマーですが、国土のほとんどを占める農村部には貧しい村々が広がっています。国の中での争いがあり、たくさんの命が犠牲になりました。傷ついた人のために医療活動を行う上では医療材料は必要で、ミャンマーではなかなか手に入らないものも多くあります。そのうち、ガーゼは主に手術中や、術後の傷の処置に使い、病院にはなくてはならないものです。

ミャンマー国内で手に入るガーゼの品質は、ほつれやすく裁断した部分から糸が出てきてしまうため手術などには適しません。中部にあるワッチェ慈善病院では、首都ヤンゴン在住の日本人ボランティアの人たちによる手縫いのガーゼを使用しています。また、日本でも医療用ガーゼを作って送っている人たちがいます。

参考：ジャパンハートのHP

<https://www.japanheart.org/reports/reports-myanmar/myanmar180808.html>

こんな活動もしています

緑ヶ丘小学校は、長野市の中心部、芹田・南部・古牧の各小学校の規模適正化のため1992年に新設された小学校です。金管バンドの活動が盛んで、2022年度は全国大会に出場し、「エクセレント賞」を受賞しました。

緑ヶ丘小学校 HP

<https://www.nagano-ngn.ed.jp/midorijs/>

福祉教育のポイント

私たちの生活は世界のさまざまな国が関わっています。

今、世界で何が起きているのか、みなさんと同じ年の各国の子どもたちはどんな暮らしをしているのかを調べて、世界の人とつながるために、できることを始めてみましょう。